

陸前高田市 文化遺産調査団派遣 報告書

1. 目的

2011年3月11日の東日本大震災及び大津波により、陸前高田市は大きな被害を受けた。市民の約1割にあたる人命が失われたほか、市庁舎を始め、博物館や図書館、文化ホール等の市の重要施設が被災した。多くのものを失ってしまった。しかし、幸いにも高台にあった寺の仏像は被災をまぬがれた。この仏像等の文化遺産を調査し、その価値を明確にすることが、陸前高田市の市民を元気づけることになる。また、その文化遺産を通したESD教材を作成し、現地の小中学校で活用していただくことで、陸前高田市の子どもたちを勇気づけるものとなるを考える。

2. 開催月日

事前調査 平成24年6月22日(金)～25日(月) 3泊4日
本調査 平成24年9月6日(木)～9日(日) 3泊4日

3. 派遣先 陸前高田市 常膳寺 小友小中学校、高田松原 他

4. 活動内容

- (1) 常膳寺での文化遺産調査
- (2) 文化遺産を通したESD教材の作成
- (3) 防災教育

5. 参加者

事前調査：加藤久雄、山岸公基、中澤静男 3名
本調査：教員 山岸公基、中澤静男、
大学院生 宮武杏名、小松原 絵里
教職大学院生 新宮済、中澤哲也
学部生 古川真里奈、幸田早苗 計 8名

6. 成果物

- (1) 3月10日の報告会において、概要報告・座談会および模擬授業を実施。
- (2) 各学生レポート・防災教育についてのレポート
- (3) 指導案「海をわたった中吉丸」「高田松原にこめた願い」いずれも 小学校ESD・総合的な学習の時間
- (4) 指導案「高田松原と人の関わり ー陸前高田市の未来を考えようー」小学校ESD・防災教育
- (5) 子ども配布資料
- (6) 仏像調査報告書(山岸)